

特集 百済 歴史の旅 -公州・扶余-



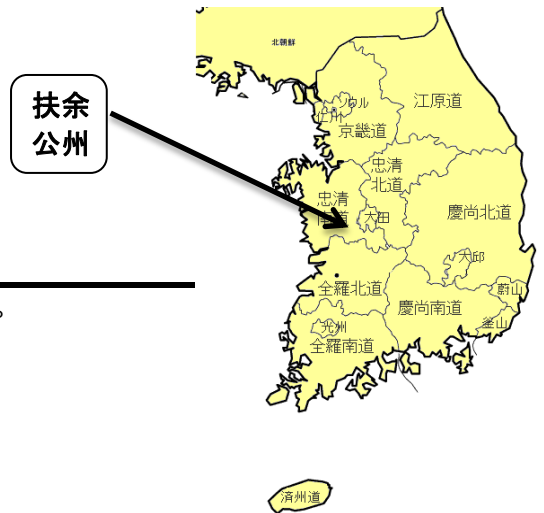
【特集】 百済の面影を尋ねる歴史の旅 ～公州（コンジュ）・扶余（フョ）～



韓国・三国時代の一国として、古代より日本と関係の深かった百済。その歴史をたどってみませんか？

当時の建造物はほとんど残されていませんが、その面影を残すのが、かつて百済の都があった公州（コンジュ）と扶余（フョ）です。

地形を生かした山城跡から望む風景は、どこか懐かしい、韓国の原風景を思い起こさせてくれます。



『百済歴史遺産地区』が世界遺産に登録！！

2015年7月、「百済歴史遺産地区」がユネスコの世界遺産に登録されました。

【公州】公山城、宋山里古墳群（武寧王陵）

【扶余】扶蘇山城と官北里遺跡

【益山】王宮里遺跡、弥勒寺跡

■ 百済文化を飾る都～公州

公州は、百済第2の都。475年、高句麗から漢城(今のソウルの南)を奪われた百済は、当時「熊津」と呼ばれた公州に都を建設。63年間都が置かれました。一時期の混乱はあったものの武寧王の時代には王権も回復。近年、その武寧王と妃の墓が見つかったことで、これまで謎も多かった百済文化が明らかにもなりました。

■ 百済最後の都～扶余

扶余は、百済最後の都。第26代 聖王（聖明王）は、538年に遷都。仏教文化も花を咲かせ、日本に仏教が伝来したのも、この頃です。防衛の中核だった扶蘇山城の目下には、白馬江が、時の流れを忘れさせるかのように、ゆっくりと流れています。

1993年に金剛大香炉が発掘され、百済文化とともに、その技術力の高さも証しています。

■ これだけは知っておきたい！ 百済の歴史

高句麗、新羅とともに韓国の三国時代を築いた百済(くだら・ペクジエ)。

日本との関わりも深く、唐も含めて、東アジア一円の社会、文化に深く関与しています。その歴史を紐解くことで、旅行の楽しみも倍増！ 時代の流れに従って、地図と旅行の写真で説明しています。まずは、百済の歴史を旅してみましよう。

韓国・台湾・東南アジア専門 ランドオペレーター



HAND MADE TOUR
ハンドメイドツアー

OTOA 正会員 NO.335

株式会社 HMC 東京都知事登録旅行業第 3-3609 号

TEL.03-3831-4295/FAX. 03-5812-7085

〒110-0016 東京都台東区台東 4-30-8 宮地ビル本館7F

営業時間 月～金 9:30～18:30 (土日祝休業)

ホームページ <http://www.handmadetour.jp/>